

【(公社) 土木学会 技術賞 (Ⅱグループ)】
 5. 「西九州新幹線 (武雄温泉・長崎間) 開業
 ～西九州地域と国内各圏域との交流の促進～」

「西九州新幹線 (武雄温泉・長崎間) 開業～西九州地域と国内各圏域との交流の促進～」が、(公社) 土木学会の技術賞 (Ⅱグループ) (※1) を受賞しました。

本プロジェクトは、西九州地域と国内各圏域との交流促進等を目的とし、高速鉄道ネットワーク形成による効果を最大限に発揮するため、武雄温泉駅における在来線との対面乗換化等の利便性向上施策を行うとともに、まちづくりなど地域と連携してプロジェクトを推進しました。その結果、地域経済の活性化、観光振興等の社会の発展に寄与するものとなっています。あわせて、土構造物区間における耐震性、経済性に優れたGRS構造物の積極的な採用 (※2) など、各種の高度な技術的取組みを行い、土木技術の発展に貢献しました。

(公社) 土木学会からは、西九州新幹線 (武雄温泉・長崎間) 開業による西九州地域と国内各圏域との交流の促進などが評価され、本賞の受賞に至りました。



GRS 構造物の積極的な採用 (九州新幹線、大山路高架橋他)

まちづくりとの連携 (長崎駅)

- ※1 土木技術の発展に顕著な貢献をなし、社会の発展に寄与したと認められる画期的なプロジェクトに贈られる賞。
- ※2 GRS 構造物は、補強材を介して盛土とコンクリート構造物を一体化し、安定性向上を図ったものであり、全面的な採用に向けた技術指針の整備等の取組みについて、令和3年度地盤工学会技術業績賞を受賞。

(参考) 令和4年度土木学会技術賞 紹介ページ

(https://www.jsce.or.jp/prize/prize_list/2_gijutu.shtml#s2022)